

札幌心療福祉専門学校

精神保健福祉科「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

科目名	時間数	学年	実務経験
医学概論	30	1年	看護師として臨床経験がある教員が、その経験を生かし医学に関する基本的な知識を講義する。
心理学と心理的支援	60	1年	臨床心理士の資格を持ち、スクールカウンセラーとして教育機関での経験を生かし、授業内容が実際にどのような場面で生かせるのかを説明する。
ソーシャルワークの基盤と専門職	30	1年	社会福祉士の資格を持ち、医療ソーシャルワーカーとして医療機関に勤務している経験も交えて、講義する。
ソーシャルワークの理論と方法	60	1年	ソーシャルワーカーの臨床経験が20年以上ある社会福祉士であり、現在は病院の経営責任者が、その経験を活かし講義します。
地域福祉と包括的支援体制	60	1年	社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし地域福祉の理論と方法について講義する。
社会保障 I	30	1年	社会福祉士の資格があり、一般社団法人の代表理事である教員が、その経験を生かして社会保険を基本とする講義を実施する。
介護概論	60	1年	介護福祉士と介護支援専門員として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし考え方の基盤になる人間観や障害観、援助者としての価値観と介護過程の基本を講義する。
ソーシャルワーク実習	30	1年	各施設実習担当者、社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
高齢者福祉	60	1年	社会福祉士として社会福祉施設の勤務経験のある教員が、その経験を生かし高齢者福祉に関し講義する。
保健医療と福祉	30	1年	社会福祉士として社会福祉施設の勤務経験のある教員が、その経験を生かし保健医療サービスに関し講義する。
ソーシャルワーク実習指導(社会福祉) I	30	1年	各施設実習担当者、社会福祉士として社会福祉施設の勤務経験のある教員が担当する。
ソーシャルワーク実習(社会福祉) I	40	1年	各施設実習担当者、社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
社会福祉総論	15	1年	授業内容にかかる社会福祉施設で勤務経験を5年以上有する社会福祉士である教員が授業を担当する。
カウンセリングの実際	30	1年	臨床心理士の資格を持ち、スクールカウンセラーとして教育機関での勤務経験を生かし、実際の面接で起きることについても併せて講義する。
手話	30	1年	公益社団法人札幌聴覚障害者協会に所属し、各専門学校、企業、小中学校などの手話講師経験のある教員が聴覚障害者の生活等の基本を講義する。
介護技術	30	1年	介護福祉士と介護支援専門員として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし安心・安全・安楽な介護技術の基本を講義する。
接遇マナー	15	1年	キャリアコンサルタントとして職業教育訓練施設等に勤務し、離職者の就職支援や職業選択支援の経験を生かし講義を行う。
相談援助の理論と方法 II	60	2年	社会福祉士として相談業務の経験がある教員が、その経験を生かし実践に繋がる相談援助の知識と技術を講義する。
社会保障	60	2年	社会福祉士の資格があり、一般社団法人の代表理事である教員が、その経験を生かして社会保険を基本とする講義を実施する。
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	30	2年	社会福祉士の資格を持ち、福祉事務所の管理職の経験のある教員が、その経験を生かし児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 Iについて講義する。
低所得者に対する支援と生活保護制度	30	2年	社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし低所得者に対する支援と生活保護制度について講義する。
就労支援サービス	15	2年	社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員、障がい者就労支援事業所のサービス管理責任者の資格を持ちソーシャルワーカーとしての社会福祉施設での勤務経験を生かし講義する。
更生保護制度	15	2年	社会福祉士、精神保健福祉士として矯正施設(刑務所、少年院)勤務経験のある教員が、経験を生かし福祉専門職が更生保護制度の理解を深める意義について講義する。
介護概論	60	2年	介護福祉士と介護支援専門員として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし考え方の基盤になる人間観や障害観、援助者としての価値観と介護過程の基本を講義する。

科目名	時間数	学年	実務経験
相談援助演習Ⅱ	70	2年	臨床心理士養成大学院修了後、地域包括支援センターや医療機関で社会福祉士として勤務し、現在も社会福祉士・介護支援専門員として医療機関で勤めている教員が授業を担当します。
相談援助実習指導Ⅱ	60	2年	各施設実習担当者、社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
相談援助実習Ⅱ	184	2年	各施設実習指導担当者、社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
精神疾患とその治療	60	2年	臨床心理士の資格を持ち、デイケアスタッフとして医療機関業務の経験やスクールカウンセラーとして教育機関勤務の経験を生かして、障害の理解について解説する。
精神保健の課題と支援	60	2年	社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし精神保健の課題と支援について講義する。
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	30	2年	精神保健福祉士として臨床経験のある教員が、その経験を活かし精神保健福祉における相談援助の基盤について講義する。
精神障害者の生活支援システム	30	2年	ソーシャルワーカーとして社会福祉施設で勤務経験のある精神保健福祉士が、その経験を生かし講義する。
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	30	2年	精神保健福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
社会・精神福祉総論Ⅱ	30	2年	精神保健福祉士または社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし社会・精神保健福祉に關し講義する。
介護技術	30	2年	介護福祉士と介護支援専門員として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし安心・安全・安楽な介護技術の基本を講義する。
福祉行政財政と福祉計画	30	3年	社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし福祉行政財政と福祉計画に關し講義する。
福祉サービスの組織と経営	60	3年	社会福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が、その経験を生かし福祉サービスの組織と経営について講義する。
権利擁護と成年後見制度	30	3年	司法書士として成年後見人に就任中であり、その経験を織り交ぜて授業する。
福祉事務所運営論	30	3年	社会福祉士の資格を持ち、福祉事務所の管理職の経験のある教員が、その経験を生かし福祉事務所運営論について講義する。
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	60	3年	精神保健福祉士として臨床経験20年の教員が、その経験を生かし精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱに關し講義する。
精神保健福祉援助演習	60	3年	精神保健福祉士として臨床経験のある教員が、その経験を活かし精神保健福祉分野における相談援助について演習を行う。
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	60	3年	精神保健福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
精神保健福祉援助実習	150	3年	各施設実習指導担当者、精神保健福祉士として社会福祉施設で勤務経験のある教員が担当する。
社会・精神福祉総論Ⅲ	76	3年	精神保健福祉士または社会福祉士として社会福祉施設の勤務経験のある教員が、その経験を生かし社会・精神保健福祉に關し講義する。
情報と医療福祉Ⅱ	30	3年	情報処理技術者としてIT業界に勤務した経験のある教員が、その経験を生かして表作成の講義を行う。また、ソーシャルワーカーとして社会福祉施設の勤務経験のある教員が社会調査の一方法の講義を行う。
医事会計	30	3年	医療事務管理士。内科、循環器科、整形、回復期病棟での医療事務経験あり。医療事務の基本を講義する。
手話	30	3年	公益社団法人札幌聴覚障害者協会に所属し、各専門学校、企業、小中学校などの手話講師経験のある教員が聴覚障害者の生活等の基本を講義する。
接遇マナーⅡ	15	3年	キャリアコンサルタントとして職業教育訓練施設等に勤務し、離職者の就職支援や職業選択支援の経験を生かし講義を行う。
合計	2155		